



三珠中学校校長室だより
令和7年9月25日発行
No.23 (希珠祭特集①)
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはこちら！



大成功!第55回希珠祭

9月20日(土)・21日(日)の2日間にわたって第55回希珠祭が行われました。全校生徒・教職員が心をひとつにして取り組んできた希珠祭は、保護者や地域の方々からの温かいご支援をいただく中、大成功を収めることができました。今号では、そんな第55回希珠祭を振り返ってみようと思います。

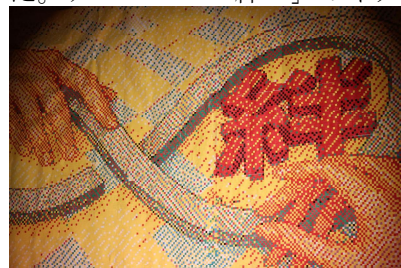
開祭式

今年も3年生による希珠太鼓の演奏で開幕しました。会場にいるすべての

人々を魅了する素晴らしい演奏でした。3年生と学年の先生方の強い絆によるオープニングは全校生徒に力を与えてくれました。▼希珠太鼓



に続いて今年度のステージバックが披露されました。テーマ「∞絆」のイメージにぴったりの暖



色がふんだんに使われた心温まる作品で、このステージバックがこれから1年間、体育館を彩ってくれると思うと嬉しく思

います。▼続く系列旗紹介で開祭式はさらにヒートア

ップしていきます。希珠祭の取組期間中、たくさんの役割を抱えていた3年生が、色々な取組の合間を縫って右の写真の様な系列旗を作ってくれました。この2本の旗は体育の部・閉祭式の最中、グラウンドに立てられ、全校生徒の絆を見つめてくれました。▼その後、テレビ局のクルーに



扮した本部役員の物語仕立てのアトラクションで会



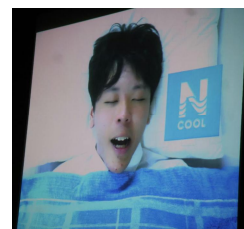
は開祭宣言へと進んでいきます。途中に入った、どこかで見たことのあるCMの映像はユーモアたっぷり、若者のしなやかな

感性を羨ましく感じました。何でも生徒会顧問 〆

〆の先生のお話によると、テレビ局のクルーになるという構想は修学旅行の段階からあったとか。三珠中ならではのアットホームで、全校生徒のボルテージが上がる素敵な開祭式となりました。

1年生演劇

開祭式後、最初の演目は1年生による学年演劇『モモと時間泥棒』で



す。初めて演劇に挑戦した1年生。

『演劇で大切なことはみんなの繋がり』であることを練習から意識し、頑張ってきました。

た。当日の演劇は、迫真の演技を見せてくれた役者さんはもちろんのこと、BGMや照明も掛けもちで担当するなど、連携の部分も素晴らしかったです。また、工夫された背景画やブラックライトによる演出も観衆の目を楽しませてくれました。初めての演劇づくりを通して大きな成長を遂げた1年生です。



2年生演劇

続いての演目は2年生による学年演劇『光～繋げたいモノ～』で

す。昨年度の『屋根裏チュー学校 in 三珠』で鮮烈なデビューを飾った2年生。昨年はネズミが主人公の可愛らしい演劇で会場を魅了しました。今年度は『命の重さ・大切さ』をテーマにしたメ



ッセージ性の強い演劇を披露してくれました。中堅学年2年生がこのようなテーマに正面から取り組んだことを嬉しく思います。この演劇を通して学んだことを生かして頼もしいリーダーに成長してってください。

